会　議　録

会 議 名	平成 27 年度　第 2 回定住自立圏共生ビジョン懇談会
開催日時	平成 28 年 1 月 26 日(火)　　10：00～11：15
開催場所	丸亀市役所本館 2 階第 3 会議室
出席者	（出席委員） 板倉宏昭（会長）、森茂（副会長）、糸杉宗州、神原正、 木村亮太、草薙めぐみ、角野幸治、高橋勝子、都村忠弘、平田正数 （欠席委員） 安益久広、片山昭彦、佐藤友光子、髙木和代、山内法知 （敬称略）
議　題	・瀬戸内中讃定住自立圏共生ビジョンの変更案について
傍聴者	0 人
事務局	丸亀市市長公室長　山田哲也 丸亀市政策課 課長　大喜多章親、副課長　冨士川　貴、担当長　志村芳隆、主事　三井友貴
発言者	議事の概要及び発言の要旨
政策課 大喜多課長	ご案内の時間も参りましたので、ただ今から平成 27 年度第 2 回定住自立圏共生ビジョン懇談会を開会いたします。本日は大変お忙しいところ、ご出席をいただきまして、ありがとうございます。 まず、山田市長公室長より一言ご挨拶をさせていただきます。
山田市長公室長	本日はお集まりいただき、ありがとうございます。2 市 3 町による定住促進ということで、定住自立圏共生ビジョンを策定していますが、実際に実施していく施策について、皆様からご意見をいただき、効果のあるものにしたいと思っております。 また、地方創生の取組みの一環としてですが、今年開催される瀬戸内国際芸術祭や、広域の観光資源を活かした AR・VR 事業などについても、2 市 3 町で連携した取組みを行っていき、広域で観光分野を盛り上げていきたいと考えております。 委員の皆様からもご意見をいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。
政策課 大喜多課長	それでは議事に入りたいと思いますが、進行につきましては、会長よりお願いします。
板倉会長	本日の会議でございますが、瀬戸内中讃定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱第 6 条第 2 項の規定において、「会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。」と規定されておりますが、現在、委員総数 15 名中、10 名出席でありますので、会議は有効に成立しておりますことをご報告させていただきます。 本日の議題は、瀬戸内中讃定住自立圏共生ビジョンの変更案についてですが、これ

	について、事務局より説明をお願いします。 《瀬戸内中讃定住自立圏共生ビジョンの変更案について、政策課志村担当長より説明。》
板倉会長	事務局からの説明に対して、ご意見、ご質問等がございましたらお願いします。
平田委員	地産地消の推進についてですが、商工会や商工会議所とも連携して実施してはいかがでしょうか。
山田市長公室長	そうですね。例えば、物産展で販売する商品についてアドバイスをいただくなど、連携して行っていけたらと思います。 物産展については、2 市 3 町での合同実施も検討しています。
政策課 大喜多課長	先日、2 市 3 町の商工部門の担当者会を開き、合同物産展についての話し合いを行いましたが、各市町とも、連携して実施した方が良いといった方向で進んでいます。
高橋委員	県外の方に魅力を発信することも必要ですが、定住を促進するためには、住民の方に、自分の住むまちを良いところだと実感してもらうことも大切だと思います。住みよいまちかどうかの一つの観点として、子育てのしやすさを重視する方は多いと思います。 例えば、病児・病後児保育が圏域内で同一料金で利用できるようになりましたが、圏域内で、こういった様々な制度があるということを、もっと住民に周知していく必要があると思います。 また、市町間で、制度の充実度合いが違っているものもありますが、一つの市町でできないことについては、圏域内の他の市町の制度でフォローしていくのが良いのではないかと思います。
政策課 大喜多課長	子育てサービスに関して圏域内で連携していくことにはメリットがあると思うので、各市町の担当課と調整して、できることから取り組んでいけたらと思います。 制度の周知については、ホームページなどを活用して、今後とも力を入れていきたいと思います。
草薙委員	子育てサービスを連携していくにあたっては、各市町の住民が、平等な条件で利用できる制度を整える必要があると思います。例えば、ファミリー・サポート・センターを、ひとり親家庭の方が利用する場合には、居住している市町外のセンターであっても、市内の方と同じように補助を受けられるようにするなど、制度の中身を整えていただきたいです。

政策課 大喜多課長	そうですね。担当課に伝え、できることから整備していきたいと思います。
都村委員	圏域で連携して子育てサービスを実施していくのであれば、料金の同一化を一つの目標として取り組んでいただきたいです。
草薙委員	今年度から、子ども子育て支援新制度が開始となり、全ての自治体において、子育て支援の制度を整備することが義務づけられています。しかし、現場にいる立場からしますと、やはり自治体によって制度内容に差があると感じます。
板倉会長	他にご意見はございますか。
神原委員	圏域内での取組みの周知方法の一つとして、新しい取組みや制度を始める時に、行政担当者だけでなく、他の関係機関の方や住民も含めた説明会を実施するのが良いのではないかと思います。 また、ビジョンの中の、各市町の概要についてですが、まんのう町のひまわり牛や、多度津町のオリーブなど、新しい特産品も出てきていますので、内容を刷新して、更にPRしていただけたらと思います。
政策課 志村担当長	近日中に定住自立圏の各市町の担当者会がありますので、お伝えしておきます。
板倉会長	他にご意見はございますか。
糸杉委員	情報発信に関連して、圏域内で連携して様々な取り組みが行われていますが、どの取組が広域での取組みなのかを、もう少し住民にも分かるようにし、制度の利用促進に繋げていただきたいと思います。 また、私が所属する四国職業能力開発大学校は、2市3町と協定を結んで、就職面接会などにおいて連携していますが、主に窓口となって下さっている丸亀市以外の市町とも、より深い関係を築けたらと思います。
板倉会長	AR・VR事業についてお聞きしたいのですが、こちらはいつ頃完成の予定ですか。今年開催される瀬戸内国際芸術祭の秋会期でもPRしていくのでしょうか。
政策課 冨士川副課長	今年度中に完成を予定しており、瀬戸内国際芸術祭でもPRしてまいりたいと考えています。
板倉会長	芸術祭で島を訪れた方を、2市3町の観光地にも呼び込むということでしょうか。

政策課 冨士川副課長	そうですね。島を訪れた方をいかにして2市3町に呼び込むかを課題として捉えていますので、現在進めているAR・VR事業を活かしていけたらと考えております。
板倉会長	瀬戸内国際芸術祭の機会を活かして、訪れた方に2市3町の住み良さをPRすることで、移住・定住に繋がる可能性があるのではないかと思います。 他にご意見はございますか。
木村委員	1年間委員を担当させていただいて、各事業が進んでいると実感していますが、これらの様々な事業を一つにまとめて、住民に発信していく必要があると思います。 また、これから地域の担い手となる必要がある若い世代の意見を、もっと反映していただきたいと思うので、ワールドカフェのような、若者による会議を、もっと積極的に開催してはどうかと思います。今回実施したワールドカフェは県外大学生が対象でしたが、市内や圏域内、県内の若者を対象としたものも開催していただきたいです。
政策課 冨士川副課長	若い世代の意見を取り入れていくことは、各市町においても課題とされており、若者を対象としたワールドカフェや、アンケート調査などが各市町において行われています。今後は、圏域での実施も検討していきたいと思います。
木村委員	また、県外から地元にUターンする若者を増加させるためには、香川県出身の若者を集めて就職説明会を行うなどの取り組みが必要だと思います。就職説明会に関しては、参加者数を増やすためにも、圏域だけでなく香川県全域で連携して実施しても良いのではと思います。例えば、香川県の東部に就職したとしても、実家が圏域の方にあれば、圏域内に住むことも考えられます。
政策課 冨士川副課長	そうですね。地元での就職を促進していくことも、圏域の課題であると認識しています。就職面接会への参加者を増やしていくためにも、周知方法についても見直していく必要があると思っています。例えば、圏域内出身で首都圏の学校に通っている学生に、直接周知をかけて、圏域内の企業でインターンシップに参加してもらうなどといったことも、検討しています。
板倉会長	他にご意見はございますか。
角野委員	地産地消の推進と、コミュニティバスの市町間連携については、実績値が0の年度が続いているので、これらについては来年度以降、もう少し具体的な数値目標を立てて取り組んでいただきたいです。 また、AR・VR事業の予算を2市3町で配分しており、市町によって額が違い

	ますが、これは市町ごとに業務内容が違うからですか。
政策課 冨士川副課長	各取組みの数値目標については、近日中に行われる圏域の担当者会でも話し合いたいと思います。 AR・VR 事業の予算についてですが、これは後から配分したのではなく、まず各市町で必要な業務をまとめて、それにかかる額を算出し、各市町の合計の額を国に申請したものです。
高橋委員	実績値に関してですが、この懇談会で話し合われたことを、もっと施策に活かしていただきたいです。例えば、地産地消の推進については、担い手支援についても力を入れるべきといった意見がビジョンには反映されていますが、実際の取組みにも繋げていただきたいです。地域の木材を使ったおもちゃを子どもたちに提供するウッドスタートの事業についても、担い手不足で実現が困難だと聞いています。事業が実現できれば、地産地消にも繋がるので、ぜひ各事業の担い手確保にも努めていただきたいです。
政策課 志村担当長	ビジョン懇談会でいただいた意見については、各市町の担当課に伝え、できるかぎり実現させていこうとしております。地産地消の推進についても、今回、2市3町での合同物産展を実施することを検討しておりますので、それに伴って実績も上げていきたいと思っています。
政策課 冨士川副課長	ビジョンの取組みについては、各市町の担当者レベルでも会をもっておりまして、そういった機会に、ビジョン懇談会でいただいたご意見もお伝えしています。今後は、より各市町の足並みを揃えて、ご意見を事業に反映させていきたいと思います。
板倉会長	他にご意見はございますか。 では、先ほど事務局からご説明いただきました、瀬戸内中讃定住自立圏共生ビジョン変更案については、ご承認いただくということでよろしいでしょうか。 《異議なし》
板倉会長	事務局からご連絡等はございますか。
山田市長公室長	報道にもありますように、圏域内への県立体育館の誘致を検討しており、現在、県に要望を提出しております。
政策課 大喜多課長	県立体育館の誘致については、2市3町で協力して進めており、スポーツを通した広域の活性化に繋げていきたいと考えております。

神原委員	スポーツによる活性化ということに関連して、丸亀市には県立の競技場があり、サッカーの試合などが盛んに行われており、丸亀駅から無料バスを運行させて集客に努められていますが、2 市 3 町からバスを運行させることで、広域での集客、活性化が見込めるのではないかと思います。
政策課 大喜多課長	競技場への無料バスの運行については、他の市町からもご意見をいただいておりますので、今後検討してまいりたいと思います。
神原委員	現段階においてもスポーツによる広域の活性化を図ることで、圏域への県立体育館の誘致もより実現しやすくなるのではないかと思うので、積極的に取り組んでいただきたいです。
木村委員	県立競技場などは、学生が部活動の大会で利用することもあるので、2 市 3 町でバスの発着地を増やしたり、本数を増やしたりするなどの取組みをしていただき、誰もが利用しやすいようにしていただきたいです。
政策課 大喜多課長	2 市 3 町での交通面の整備は、誘致活動を進める上でも重要なことだと、私どもも認識しているので、今後連携して改善していきたいと思っています。
板倉会長	事務局から、他にございますか。
山田市長公室長	今年の 11 月 26 日ですが、丸亀市で「第 14 回全国藩校サミット」を開催することとなりました。このサミットを機に、歴史文化を活かした地方創生にも取り組んでまいりたいと考えており、ぜひ丸亀市だけでなく、中讃地域でも盛り上げていけたらと思います。
板倉会長	他に、ございますか。
政策課 志村担当長	現在の瀬戸内中讃定住自立圏共生ビジョンの計画期間は、平成 28 年度までとなっておりますので、29 年度以降の計画について今年度は大幅な見直しが必要となります。そのため、今年度は開催回数が今までの年度よりも多くなりますが、ご了承いただきますようお願いいたします。
板倉会長	他に、委員の皆様からは何かございますか。 では、これをもちまして本日の議事を終了いたしたいと思います。長時間のご審議、ありがとうございました。 （会議終了）